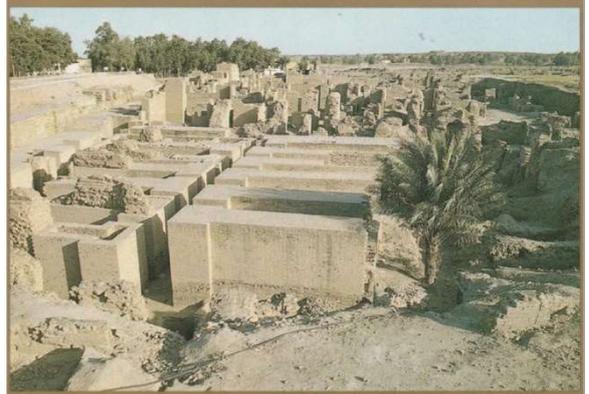


帝国の崩壊（聖書の預言とその成就）

岩本友則

空中庭園を、支えた土台（右の写真）それは、洞窟を思わせるものです。私が、思わず「コウモリでも居そうですね」と言うと、ガイドさんは「コウモリは居ませんが、確か「フクロウは居たと思います。」との答えが返ってきました。この答えに背筋が凍る思いがしたのです。それは、旧約聖書イザヤ書 13 章が思い浮かんだのです。



栄華そして帝国の崩壊へ

左下の写真は、愛と美の女神イユタルが祀られたイシュタル神殿で、右下の写真はナブシカリ神殿です。

約 2600 年前のバビロニア帝国の繁栄を物語るものです。



約 100 年間栄華を誇った新バビロニア帝国も終焉^{しゅうえん}をむかえます。

旧約聖書のダニエル書 5 章において、以下のように伝えています。

ベルシャツアル王は、千人の貴人たちのために大宴会を催し、その千人の前でぶどう酒を飲んでいました。すると突然、人間の手の指が現われ、王の宮殿の塗り壁の、燭台^{しよくだい}の向こう側の所に物を書いた。王が物を書くその手の先を見たとき、王の顔色は変わり、それにおびえて、腰の関節がゆるみ、ひざはがたがた震えた。

王は、大声で叫び、呪文師、カルデヤ人、星占いたちを連れて来させた。王はバビロンの知者たちに言った。「この文字を読み、その解き明かしを示す者にはだれでも、紫の衣を着せ、首に金の鎖をかけ、この国の第三の権力を持たせよう。」

次頁の写真は、聖書に記述された王が千人の貴人を招いて大宴会を行っていたホールであり、私と同僚のニックが立っている所が、バビロニア帝国のベルシャツアル王及び王の一族が座っていた場所です。（ただし、実物の半分の大きさです）ベルシャツアル王は、ここに

座ってぶどう酒を飲んでいたのです。そして、ダニエル書5章によれば、その宴会の最中に人の手のようなものが現れ、私が立っている後ろの壁に何かを書いたのです。しかし、イラクの言い伝えによれば、宴会中に起こったのではなくベルシャツアル王が夢で見た事だとガイドさんは、説明するのです。

この壁に書かれた謎の文字、当時、最高の知恵者であった呪文師、カルデヤ人（天文学、占星術）星占い師の誰一人として解読できません。



それを解読したのは、ユダヤから連れてこられた捕囚の民の一人であったダニエルです。ダニエルの解き明かしについて、聖書は以下のように記述しています・・・ **その書かれた文字はこうです。『MENE, MENE, TEKEL, UPHARSIN:メネ、メネ、テケル、ウ・パルシン』**そのことばの解き明かしはこうです。『メネ』とは、神があなたの治世を数えて終わらせられたということです。『テケル』とは、あなたがはかりで量られて、目方の足りないことがわかったということです。『パルシン』とは、あなたの国が分割され、メディアとペルシャとに与えられるということです。」

その解き明かし通り「**その夜、カルデヤ人の王ベルシャツアルは殺され、メディア人ダリヨスが、およそ62歳でその国を受け継いだ。**」のです。こうして、栄華を誇った新バビロニア帝国は、滅亡したのです。

聖書の預言成就

ガイドさんの「コウモリは居ませんがフクロウ（別名「みみずく」）は居たと思います。」との言葉、そして見渡せば、野良犬が群をなし、遺跡の中を悠然と歩くヤギの群れ、・・・旧

約聖書イザヤ書 13 章次のように預言されています。「こうして、王国の誉れ、カルデヤ人の誇らかな栄えであるバビロンは、神がソドム、ゴモラを滅ぼした時のようになる。そこには永久に住む者もなく、・・・・・・その家々には、みみずくが満ち、そこにはだちょうが住み、野やぎがそこにとびはねる。山犬は、そのとりでで、ジャッカルは、豪華な宮殿で、ほえかわす。その時の来るのは近く、その日はもう延ばされない。」

聖書の預言成就と言うには少し無理があるかと思われるでしょう。「みみずく」が満ちているわけではありません。「ジャッカル」や「だちょう」は、中東には生息して居ないだろうと言われるでしょう。しかし、調べてみると紀元前の時代これらの動物は、アフリカだけではなくこの地方にも生息して居たのです。ライオンなどは、ヨーロッパにも生息していました。しかし、残念ながら今日これらの動物は絶滅してしまったのです。絶滅に追いやったのは、環境の変化、それとも人の手によるものなのでしょうか？

バビロニア帝国は、滅亡しました。しかし、聖書 66 巻の一番最後の書、ヨハネの黙示録にバビロンは、「すべての淫婦と地の憎むべきものとの母、大バビロン。」として、再度登場します。

続く